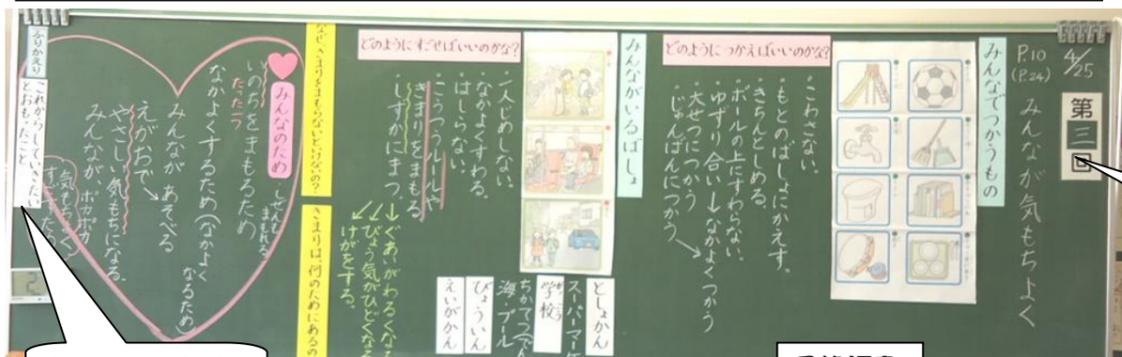


**5月2日5校時 総合的な学習の時間 2/75時間目**  
**探究課題：「身の回りの高齢者とその暮らしを支援する人々と仕組み」**  
**5年2組 秋田 喜俊 教諭**

H30年度の研究がスタートしました。今年の研究主題は「資質・能力を育む国語科授業の創造」、副題は、昨年度の課題に挙げられた「言語活動」を研究の中心に置くために～質の高い言語活動を通して～と設定しました。このテーマに基づいて、この1年間研究を深めていきます。今年、「教育課程拠点校事業」の研究指定校として、11月1日、最終年度の研究発表会があります。この研究通信の題名にもありますが、「チーム」として教職員全員の協働によって研究を進めていきたいと思っています。みなさんどうかよろしくお願いします。

さて、国語科の研究に先立ちまして、今年度から教科化となった「道徳」と新学習指導要領に移行した「総合的な学習の時間」についての研修を行いました。その様子をまとめてお知らせしたいと思います。

**4月25日3校時 特別の教科 道徳 第3回 「みんなが気持ちよく」**  
**2年1組 森田 幸子 教諭**



第0回と回数を必ず書く！

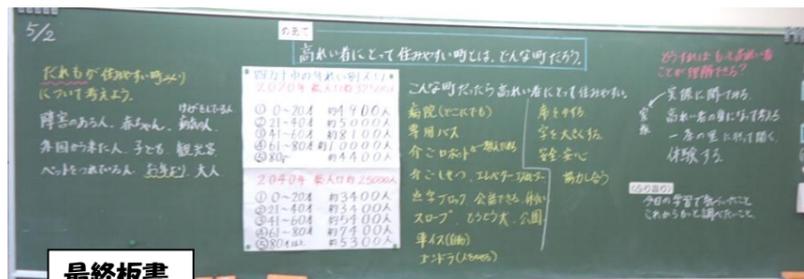
振り返りの視点

最終板書

始業5分前に教室に行ってみると、すでに子どもたちは着席して道徳の教科書を開いて読んでいました。2年生になってまだ1カ月も経っていませんでしたが、1年生の時とは明らかに学習態度が変わっていて、集中して授業に取り組もうとする姿が見られ驚いたことでした。森田先生の学級経営、構造化された見やすい板書、子どもたちへの温かな接し方や評価等、いつも学ばせてもらっています。今回は急な要請にもかかわらず、道徳の授業を公開してくださりありがとうございました。

**宗崎指導主事の講話より**

- ・全教員が「重点指導項目」を共通理解して、全員で取り組むことが必要である。道徳の授業だけでなく全教育課程の中で行わなければならない。授業はその要となるもの。
- ・「第0回」と板書することで、1回1回作り上げる歴史を感じられる。意識して年間35回取り組むこと。
- ・評価については、「子どもは本当に信頼できる先生に褒められて成長を実感できる。」：浅見先生の話、「先生と子どもの信頼関係と温かい児童理解がベース」：横山先生の話、「先生は、ぼくのこんな所を見てくれているんだ！」児童が次も頑張りたいようになる気持ちにさせる子どもの成長を促す評価が大切である。どこをどう見て評価するのか、具体的には解説のP.107～を読むこと。特にP.111の「個人内評価として見取り、記述により表現することの基本的な考え方」を参照する。つまり、道徳の評価は、足し算の評価であり、一人一人が持っているものをスタートラインと考え、どれだけ成長したかの具合を見ること、実態+成長という評価になる。
- ・道徳の授業の板書を写真に撮って記録しておくことよい。(ネームカード等で個人の評価が見取れる)
- ・授業の最後に自己を見つめる時間を必ず取るのが大切。



最終板書



「新学習指導要領」に基づいた総合的な学習の時間の授業とはいったいどんな授業なのか、ということで中村小学校で行われている「総合的な学習の時間」の授業を、秋田先生に授業を公開していただきました。授業の5日前という急な要請にもかかわらず、快く引き受けてくださった秋田先生ありがとうございました。これまで「総合的な学習の時間」の授業を見せていただく機会が少なかったので、とても新鮮で貴重な学びの時間となりました。

校内研修では、村上指導主事から「新学習指導要領」の趣旨説明の後、授業についてご指導いただきました。まず、「新学習指導要領」の解説に基づいてパワーポイントを使って説明がありましたが、私自身「総合的な学習の時間」の解説を少ししか読んでなかったため、今回説明を聞きながら必死に大事な所にラインを引きました。特に、P.8～「目標の趣旨」、P.21「内容」、P.35～「指導計画の作成に当たっての配慮事項」などP.77やP.111とリンクさせながら読みましたが、中村小学校の全体計画を実際に見ながら読んでいくと書かれていることとつながるので、再度読んでいく必要があると思いました。

**授業について村上指導主事より**

- ・今日の授業の場面は、課題設定のところである。高齢者の困り感は子どもたちにはまだないのではないかと。課題として設定するには早すぎたのかも。児童が本気で考えたいようになるように、もっと高齢者の困り感に気付かせたい。
- ・資料(人口の年代別の数値)の提示で子どもたちの気持ちを引きつけたが、数字にびっくりしただけかもしれない。数値だけでなくグラフを提示すれば、視覚的にも見やすくなる。過去のデータと比較させるのもよい。どんなデータを示すとよいか「しかけ」の工夫が大切である。
- ・子どもの意見を教師が板書でまとめていたが、子どもに「思考スキル」を使わせて、分類させるなどするとよい。
- ・「思考ツール」(マトリクスやピラミッドチャートなど...)を活用させることも授業の中に取り入れるとよい。



**さあ！いよいよ明日の5校時は、今年度最初の国語科の提案授業があります。オ市先生、トップバッターよろしくお願ひいたします！**

昨日配布した「学習指導案」と「国語科授業の構想図」と「授業参観の視点」に一度目を通して、授業参観と研究協議にご参加ください。研究協議の際には、現行の「学習指導要領」と新しい「学習指導要領」両方ご用意ください。